

三菱ケミカルグループ(4188)①

●1Qコア営業利益→1141億円(+102%)

□上期予想を1390億円→1940億円へ(※在庫評価損益改善485億円)

550億円上方修正

●スペシャリティマテリアルズ = 期待の成長けん引役

□コア営業利益は174億円→383億円(+120%)

□売買差+119億円、数量差+91億円、コスト削減+49億円

➤半導体関連

✓ 合成石英、精密洗浄、高純度薬液、EUV関連、エンプラ、超純水

➤積層セラミックコンデンサ向けフィルム

➤半導体製造装置向け高機能エンプラ

➤ロボタクシー向け炭素繊維部材

✓ 米Zoox(ズークス)向けに供給

FY25 (449億円) → FY26 (900億円) → FY29 (1550億円)

●多くの構造改革を進行

- 石油化学事業の分社化を検討

 - 旭化成・三井化学との西日本クラッカー統合を進める

- 炭素事業ではコークス・炭素材から撤退

- MMAも欧州・台湾・米国など世界的な拠点再編を進行中



「石化分社化・他社統合の具体化」、「MMA追加構造改革」があればポジティブ

●ポイント

- 市場はまだ「1Q好決算＝一過性要因が大きいのでは？」と疑っている

 - 中間決算で通期予想が大幅上方修正されれば株価にポジティブ！

- 「スペシャリティの成長は持続的」「石化依存度は下がる」

という市場の認識変化＝バリュエーション(PER)の拡大！

円谷フィールズホールディングス(2767)①

- 1Q営業利益:69億円(−11.9%)
□市場予想(30億円程度)を大幅に超過

- 通期予想**190億円→225億円**(+28.9%)
35億円上方修正

- 中計目標(29.3期)営業利益**250億円→285億円**
35億円上方修正

- ウルトラマン60周年記念特別配当70円を発表
□27.3期1株当たり配当**70円→140円**
2倍に増額！

ともに
市場予想を超える

円谷フィールズホールディングス(2767)②

●コンテンツ&デジタル(ウルトラマンIP)

- 中国が想定以上に良い、国内商品化ライセンスも堅調
- ブロック玩具・キッズアパレルなどで新商品販売や新規顧客獲得が順調

●アミューズメント(遊技機)

- 『L 東京喰種』などの人気機種が増産が奏功
- 上期に納品予定の対象商品がすでに完売
- 第3四半期に納品予定の主力機種も受注が極めて好調

●今後について

- 先行きに対して“非常に自信”
- 特配で切り上がった配当水準は来期以降も維持可能
- 業績伸長によりさらなる配当増額も

明治ホールディングス(2269)①

●1Q営業利益: **227億円(+27.7%)**

□食品・医薬品ともに大幅増益の好発進

●食品

□コスト増加など厳しい環境 → 価格改定効果で吸収

□世界トップクラスの乳酸菌技術を活かした**プロバイオティクス事業**

➢「ヘモグロビンA1c対策ヨーグルト」や「R-1」

➢ プロテイン「ザバス」

} 健康志向の高まりが追い風

□チョコレートも販売好調

➢ 今後はカカオの調達コスト低下も効いてきそう

●医薬品

□主力の抗菌薬やワクチンに加え、新薬の伸長が貢献

●構造改革を進める

- 中国乳製品事業からの撤退(26年12月予定)
- 国内冷凍食品事業からの撤退を発表
- 国内の乳製品工場を再編

28年3月期以降、収益性改善が大いに期待

●業績・株価のけん引役が豊富

- 食品・医薬品がそろって好調で上向き
- 構造改革による利益率向上
- 28.3期には営業利益で過去最高の更新が見込まれる